

「合板の日」式典で
林野庁長官表彰受賞

平成27年11月6日（金）に新木場タワーで開催された第3回「合板の日」記念式典において、森林総合研究所が林野庁長官表彰を受けました。

主催者の挨拶、今井敏林野庁長官などの来賓祝辞に続き、岡野健木材・合板博物館館長から受賞者、受賞理由の紹介がありました。受賞理由として、国産材を活用した針葉樹構造用合板の開発、ホルムアルデヒド問題への対応、コンクリート型枠用合板の開発、住環境改善と国産材需要拡大が挙げられ、これまでの合板業界に果たしてきた功績が称えられました。

沢田理事長の受賞者挨拶に続き、森林総研フェローの神谷文夫セイホク株式会社社技師長と渋沢龍也複合化研究室長による厚物合板と型枠合板の開発に関する講演が行われました。



林野庁長官から表彰状の授与を受ける沢田理事長



来賓祝辞を述べる今井林野庁長官

アグリビジネス
創出フェアに出展

農林水産省主催の「アグリビジネス創出フェア2015」が、「知の集積と地方再生」をテーマに11月18日（水）から20日（金）まで東京ビックサイトに於いて開催されました。

当所からは「新しい木質材料CLTの開発と普及」、「木質バイオマスの直接メタン発酵」、「トレファクション処理による高性能木質燃料」、「国産材を用いたコンクリート型枠用合板」、「国産材によるセルロースナノファイバー」、「軽量レーザー計測装置による森林の三次元計測」、「シカ管理とシカ資源活用」、「ナラ枯れの低コスト防除技術」の8テーマについてブース出展を行いました。

また、林徳子主任研究員（きのこ・微生物研究領域）、坂本知己地域研究監（東北支所）、所雅彦室長（森林昆虫研究領域）、梶本卓也領域長（植物生態研究領域）による講演発表も行われました。



森林総合研究所展示ブース



林徳子主任研究員のセルロースナノファイバーについての講演

森山農林水産大臣が
森林総合研究所を視察

森山裕農林水産大臣が11月30日に生産性向上等のための技術開発に係るつくば地区法人視察の一環として、森林総合研究所を視察しました。当日は、正面玄関ホールにおいて、花粉症対策品種等の開発、土石流災害の防止技術に関する研究、トドマツの枝葉を利用した空気浄化剤の開発などの研究概要について説明を受けました。次に、次世代木造建築実験棟に移動し、CLT（直交集成板）の長期性能試験（一定の荷重をかけ続けて、たわんでいく様子を解明）の様子を見学しました。今回の視察では、限られた時間でしたが、当所の説明を通じ、森林、林業、木材産業及び林木育種に関する研究についてより深く理解していただきました。



土石流災害の防止技術を説明
（大臣：右端）



CLTの長期性能試験の様子を視察
（大臣：左から3人目）

若手農林水産研究者表彰受賞

当所立地環境研究領域の橋本昌司主任研究員が平成27年度(第11回)若手農林水産研究者表彰の農林水産技術会議会長賞を受賞しました。この賞は、農林水産業及び関連産業に関する研究開発において優れた功績をあげた若手研究者(40歳未満を対象)に授与されるもので、「森林内放射性セシウムの時空間変動モデリングに関する研究」に関する功績が評価されました。

同主任研究員は、チエルノブイリ事故後に開発された森林生態系放射性物質動態予測モデルを、福島森林で得られた地上観測データと航空機モニタリングによる広域沈着量データなどの地理情報(GIS)データと組み合わせ、森林内での放射性セシウムの分布の時空間的变化を広く予測しました。

表彰式および受賞講演は11月18日、東京ビッグサイトにおいて多くの関係者が隣席する中で行われました。



表彰者らの記念写真
(前列中央が橋本主任研究員)



農林水産技術会議会長賞を受賞した
橋本主任研究員の受賞講演

秋のイベントで広報活動

「つくばみらいエコフェスタ」が10月18日(日)に茨城県牛久市の牛久運動公園で開催され、森林総研は「木を知り木に親しむく木づかいが作るエコ社会」をテーマに、木材標本の展示、ペン立てを作る木工体験(約130名参加)、森に関する紙芝居を行いました。

「つくば科学フェスティバル2015」が10月31日(土)～11月1日(日)につくばカピオで開催され、森林総研は「身近な植物と親しむ」をテーマに出展し、植物に関する講演とともに草花遊びを紹介しました。

「筑波大学双峰祭」(11月7日(土)～8日(日)開催)のつくば研究紹介コーナーで、森林総研は「チエーンソー用の防護服は災害だけでなく林業経営も守ります!」をテーマに、防護服の研究を紹介しました。

「放課後子供教室」を12月15日(火)につくば市立田井小学校で「森林土壌の浄化機能をテーマに開催し、森の土に関する講義の後、土の浄化機能を見る「水のろ過実験」を体験していただきました。

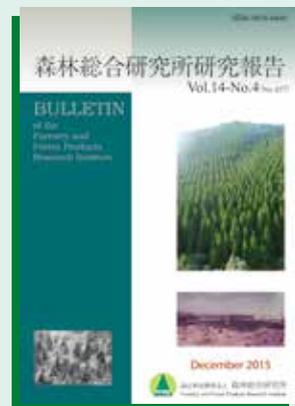


つくば科学フェスティバル
草花遊びを紹介



放課後子供教室
森林土壌の浄化機能を紹介

森林総合研究所 研究報告



Vol.14-No.4 (通巻437号)
2015年12月発行
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/bulletin/>

●**総説**
荒廃熱帯林の修復には、景観レベルの順応的管理とカバナンスの改善が必要
藤間剛

●**論文**
関東地方の窒素負荷量の異なる2地域における4樹種の窒素元素安定同位体比と葉の性質(英文)
稲垣善之、稲垣昌宏、橋本徹、金子真司

●**研究資料**
羊ヶ丘実験林気象観測露場40年の記録
溝口康子、山野井克己